

がんばろう日本

～亀岡市は平成28年(2016年)熊本地震被災地の復興を支援します～

February 2018 広報No.658

キラリ 亀岡

■亀岡市の人口と世帯数

	平成30年 1月24日現在	平成29年 1月22日現在
人口	89,711人	90,333人
内訳	男	43,688人
	女	46,023人
世帯数	38,706世帯	38,467世帯

■主な内容

- 1ページ いよいよ夢と希望の実現へ! 京都スタジアム(仮称)工事着工
- 2ページ SC・ISS事前審査 ～さらなる安全・安心のまちを目指して～
- 3ページ 企業版ふるさと納税事業が完成
- 4ページ 亀岡市成人式/新成人・新年を祝う会 報恩謝徳～ありがとう、コトシ、ワタシ、ハタチ。ほか

編集発行:亀岡市長公室秘書広報課 / 〒621-8501 亀岡市安野野々神8番地 / ☎0771-22-3131(代) ☎0771-24-5501

ホームページ <http://www.city.kameoka.kyoto.jp> 電子メール office@city.kameoka.lg.jp フェイスブック <http://www.facebook.com/kameokacity>



いよいよ 夢と希望の実現へ!

京都スタジアム(仮称) 工事着工

京都府が亀岡市において進めてきた京都スタジアム(仮称)の整備事業。いよいよ着工を迎え、1月20日に起工式が行われました。2020年春のオープンに向けて、青少年の夢の舞台、そして亀岡の新たなランドマーク誕生へのカウントダウンが始まります。



京都スタジアム(仮称)の鳥瞰イメージ

※このページのパース図はイメージであり、今後変更されることがあります。

▲記念すべき着工の日を祝う起工式

観客席は、張り出した屋根が全席を覆う全国初の構造が採用されるとともにピッチまでの距離を短くし、臨場感ある観戦環境を実現。さらにスタンド下の空間を利用して設置されるスポーツクライミング施設は東京オリンピックで採用される三種の競技が完

成。昨年12月の京都府議会定例会における工事請負契約締結の議決を受け、着工の運びとなったスタジアム。建築面積は約1万6,000平方メートル、地上4階建の施設には約2万1,600人が収容可能です。その外観は、町屋をイメージしたデザインを取り入れ、周囲の山並みとも調和し、亀岡の風景に溶け込むよう工夫がされています。

スタジアムの姿



▲工場の安全を願い鉄入れ式を実施

鉄入れ式に続き、ガレリアかめおかでは来賓や関係者約300人を招いて起工式を開催。開会にあたり山田知事は「府内全体に力を生み出すとともに、すばらしいプレー環

完成への大きな一歩 起工式

1月20日、スタジアムの起工式に先立ち、JR亀岡駅北側の建設地において鉄入れ式が行われました。出席した山田京都府知事や桂川亀岡市長、来賓の皆さんが工事の無事を願いました。今後、周辺地域の安全を確保しつつアユモドキなど自然環境に配慮する中で工事が進められることとなっています。

無事を祈願して 鉄入れ式

全室内空間で行える日本で初めての施設となります。スタジアム内にできる「商業ゾーン」の施設なども含め、地域活性化の中心地となることを期待されています。

主な施設

- 観戦環境 スタンド最前列からピッチまでの距離
- ・メインスタンド 8.5m² バックスタンド 7.5m²
- ・南北サイドスタンド 10.5m²
- ・スタンド最前列とピッチの高低差 1.2m²
- フィールド 南北 126m²×東西 84m²、天然芝を使用
- 屋根 観客席最前列より2m²張り出し、全席を覆う[全国初]
- 大型映像装置 2基
- 照明(LED) フィールドの照明1,500ルクス以上

境・観戦環境を備えたこのスタジアムは、全国のモデルになると確信しています」と期待を語りました。続いて、桂川市長も「スポーツを通じた青少年の健全育成はもとより、地域のにぎわいを喚起し、まちづくりの拠点になるものと考えています」とスタジアムが持つ可能性を示しました。



▲着工を祝い多くの関係者が集まりました

今後の工程は、2019年12月末に本體工事完成、そして2020年春にオープン予定。日々移り変わる建設風景を眺めながら、スタジアムがある未来に思いを馳せてみましょう。

いよいよ着工の日を迎えたスタジアム。自然と共生する場として、また、市内外から人の集まる交流の場となっていくことが期待されます。亀岡市では、スタジアムをにぎわい創出の核としてまちの活性化につなげていくため、今後も京都府と連携し、効果的な活用方法などについて検討を進めてまいります。

にぎわい創出の拠点を 目指して

その後、くす玉開披が行われ、華やかにスタジアム着工を祝いました。そして最後の最後には、京都サンガFCの選手と亀岡市内のサッカーチームの子どもたちが着工を記念してキックオフ。スタジアムの完成とサンガの健闘を願う気持ちをボールにこめました。



▲サンガの選手からパスを受け、元気にキック!